



高石小学校だより

『 たくましい子・かっこいい子・いよくのある子・やさしい子 』



2021
12.20
NO.25
文責:弘瀬

～5年生デジタル教科書を使って～

本年度本校は、文部科学省実証事業で5・6年生が算数科のデジタル教科書を使用しています。児童用のデジタル教科書は、今使っている紙の算数の教科書と同じものがタブレットで見ることができます。また、一部デジタル教材が活用でき、現在5年生が学習している面積の単元では、タブレット上の図形を指でタッチして移動したり、回転させたりすることができます。



12月9日(木)は、三角形の面積の求め方を考える学習でした。タブレット上の三角形を今まで習った図形に変形させて、ワークシートに記入し、それぞれ工夫して面積を求めていました。簡単に切ったりくっつけたり何度もやり直したりできるところがデジタルのよさです。

また、次の週には台形、ひし形の面積の求め方について学習しました。



図形を変形させることに慣れてきた児童は、ペアで自分たちの考えをみんなの前で説明もできるようになりました。この時大事なのは算数用語を使って説明することです。今年高石小の算数科の研究では、説明できる力をつけるために、全校で練習していることでもあります。

例えば次のように説明する時には波線を引いている言葉を使うことで、みんなに分かりやすく説明できます。

この上の三角形を切り取って…、ここへ移動させると〇〇形になります。面積を求めるにはこの辺を底辺、ここを高さと考えると、式は… $\triangle\triangle$ になります。

このような言葉をみんなが使えるように、日々練習して学習を積み重ねています。

～全校写真ファイルをいただきました～

先週、各学級児童数で2学期に福留開発さんがドローンで撮影した全校写真をファイルにいただきました。早速児童数で配布しています。大切に使ったり、令和3年度の学年の思い出として保存したりするなど家庭で御確認ください。高石小では以前平成29年1月にもファイルをいただ



いているようです。昨年卒業した今の中学1年生が小学1年生の時だったようです。何年かすると、とても懐かしい顔になりますね。

←今年度(令和3)のファイル



平成29年のファイル

～冬休みも毎日10分本を読もう～

学校では毎朝、10分間朝読書をしています。みんなが本を開き、学校全体が静かになる時間でもあります。ぜひ、冬休み中も学校と同じように1日10分毎日読書をしてください。読書は読む力がないと本を楽しむことができません。ある日突然本が読めるようになるわけではないからです。本を読む力をつけるのも体力と同じように練習が必要だからです。読書力は読解力につながります。

1・2年生では、初めは絵本を一文字ずつ声に出して読んでいる姿もあります。図書カードが絵本で何枚もうめつくされている子もいます。この年代はまだまだ読み聞かせが必要な時期です。耳から入る言葉が増えれば増えるほど目から入る言葉の理解も深まると言われています。

それぞれの興味がひろがる3・4年生では、怖い話、シリーズもの、図鑑、マンガ「きんこん土佐日記」などが人気です。5・6年生は歴史学習漫画やミステリー、探偵もの、シリーズものなどさし絵がなくても話の楽しさにはまり、みんなが順に借りて読み進めている様子が見られます。

2学期には図書館教育の学習を全年でしてきました。1～3年生は「図書館の使い方」「図書館の本の分類」「高知県教育委員会『きっとある君の心にひびく本』」などについての内容を。4～6年生は「百科事典の引き方(ポプラディア)」などです。



12月 1年生「きっとある君の心にひびく本」をさがしてみよう



11月 3年生「本の分類」について

また、読む本の幅を広げるために、読み聞かせも毎週続けています。読書というお話の本と思うかもしれませんが、図書館には、9類(文学)の本だけでなく1～8類の本があります。9類以外の本を読むことは説明文に強くなる秘訣でもあります。冬休み中も毎日10分、時には読み聞かせや親子で同じ本を読書する(共読)、図書館に家族で行ってみるなど、ご家庭でもぜひ読書を楽しんで下さい。

* 参考引用文献:『小学校最初の3年間で本当にさせたい「勉強」』 中根克明 すばる舎 2016年